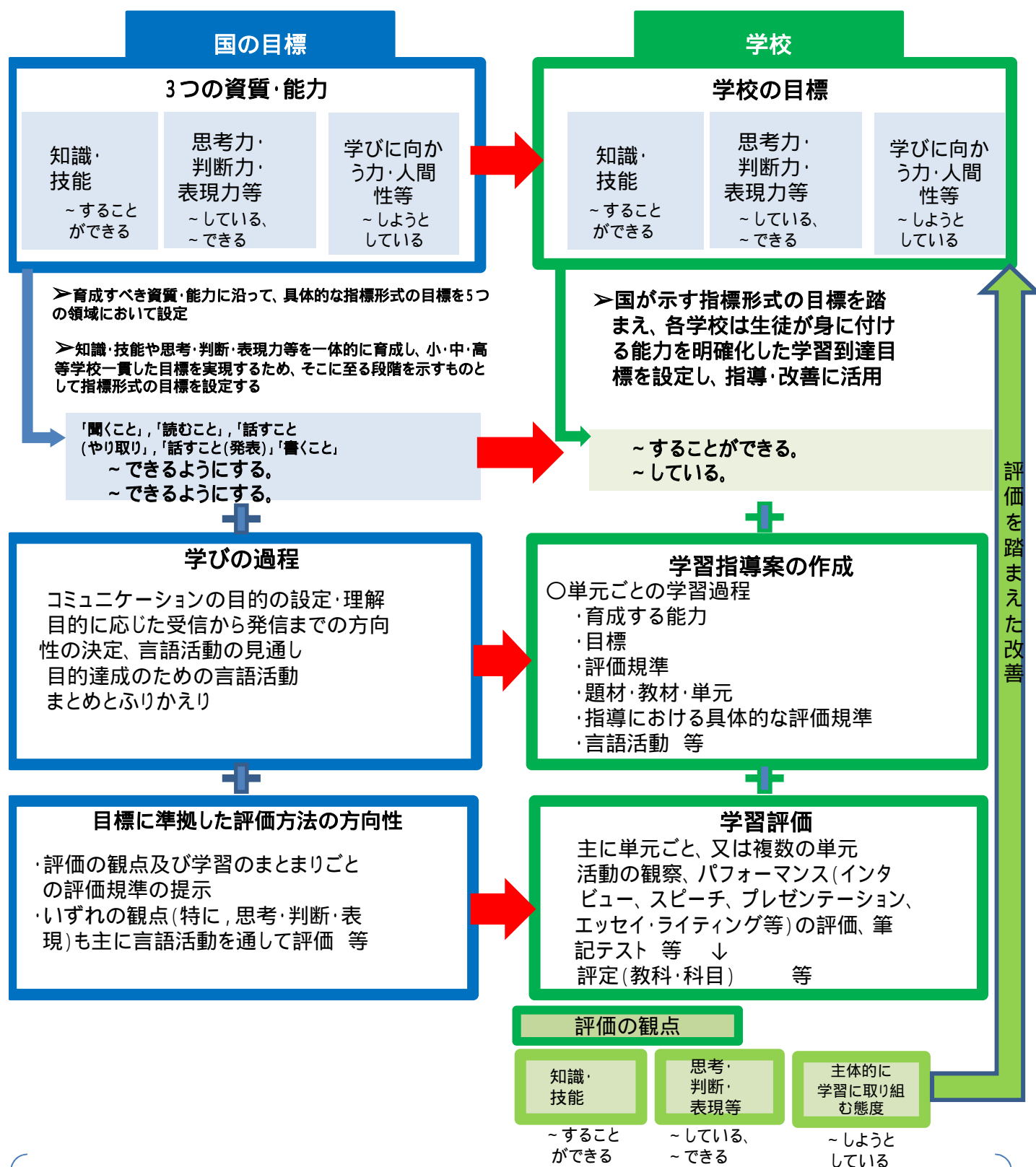


# 外国語教育における目標、学びの過程、評価の構造（イメージ）



「目標に準拠した評価」においては、  
・三つの観点は、単元における学習と一体的に評価が行われることが必要である  
・「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」の観点のうち、その単元において最も重視する観点到示されている評価事項を、「主体的に学習に取り組む態度」の項目としても捉え、両面から評価する

# 小学校 第3年 外国語活動 学習指導案 例（イメージ）

## 1 育成する能力

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、コミュニケーションの目的を理解し、見通しを持って目的を実現するための活動を通して、聞いたり話したりすることに慣れ親しませ、コミュニケーション能力の素地となる資質・能力を次のとおり育成を目指す。

## 2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語を用いた体験的なコミュニケーション活動を通して、簡単な語句や表現などの外国語を聞いたり言ったりしている。</li> <li>・外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語との音声の違いに気付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な語句や表現を使って、自分ことや身の回りのことについて、友達に質問したり質問に答えたりして表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや言語を用いてコミュニケーションを図る大切さを知り、相手意識を持って外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>・言語の大切さや文化の共通点や相違点や、様々な見方や考え方があることに気付いて、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>

## 3 取り上げる単元

(1)単元名 In the Autumn Forest 自分たちの絵本を作ろう（全4時間）

### (2)単元の目標

- ・まとまりのある英語での物語を聞いて、その概要を理解しようとする。
- ・絵本の筋にあわせて、相手意識を持って自分が選んだ動物を紹介しようとする。
- ・動物や体の部位、形状を表す語に慣れ親しむ。
- ・カタカナで表す動物とその英語との音の違いに気付く。

## 4 指標形式の目標（イメージたたき台）

聞くこと	ゆっくりはっきりと、繰り返し話されれば、自分に関することや身近で具体的な事物を表すごく簡単な語句や文を聞き取ることができるようにする。
話すこと	自分や身の回りの物事に関するごく限られたことについて、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。

## 5 具体的な評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物や体の部位、形状を表す語を理解している。</li> <li>・カタカナで表す動物とその英語の音の違いに気付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりのある英語での物語の概要を理解して表現している。</li> <li>・絵本の筋にあわせて、相手意識を持って自分が選んだ動物を紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりのある英語での物語の概要を理解し、表現しようとしている。</li> <li>・絵本の筋にあわせて、相手意識を持って自分が選んだ動物を紹介しようとしている。</li> </ul>

## 6 指導と評価の展開

時	評価規準と評価方法	学習活動
1	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物を表す語を理解している。</li> </ul> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クイズ・歌での様子の観察、振り返りカード点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者の質問に答えながら、絵本の読み聞かせを通して、動物を表す語を知る。(p.22 まで)</li> <li>「カルタ取りゲーム」「集中力ゲーム」を通して、動物を表す語を理解する。</li> <li>歌を通して体の部位の言い方を知る。</li> </ul>
2	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カタカナで表す動物とその英語との音の違いに気付いている。</li> <li>動物や形状を表す語を理解している。</li> </ul> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の読み聞かせ・ゲーム・歌での様子の観察・振り返りカード分析/点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌を通して体の部位の言い方を理解する。</li> <li>指導者の質問に答えながらの読み聞かせ(最後まで)を通して、カタカナで表す動物とその英語との音の違いに気付く。</li> <li>「動物キーワードゲーム」「形状+体の部位+動物キーワードゲーム」「動物ミッシングゲーム」「小型絵本を使って絵本ページ探し」を通して、動物や形状を表す語を理解し、使えるように練習する。</li> </ul>
3	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まとまりのある英語での話を聞いてその概要を理解している。</li> <li>動物や形状を表す語を理解している。</li> </ul> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の読み聞かせ・ゲーム・歌での様子の観察・振り返りカード点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌を通して体の部位の言い方を理解する。</li> <li>指導者の質問に答えながらの読み聞かせを通して、まとまりのある英語での話の概要を理解する。</li> <li>「小型絵本を使って絵本ページ探し」「形状+体の部位+動物キーワードゲーム」「動物ステレオゲーム」「チェンゲーム」を通して、動物や形状を表す語をできるように練習する。</li> <li>先生のオリジナルページを含む絵本の読み聞かせを通して、まとまりのある英語での話の概要を理解する。</li> </ul>
4	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の筋に合わせて、自分が選んだ動物について紹介しようとしている。</li> </ul> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループでクイズを出している様子の観察・振り返りカード点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせを聞きながら、指導者と一緒に絵本の台詞を言うこと、「先生の動物クイズ」を通して動物や形状の言い方が使えるよう練習する。</li> <li>「動物でクイズ」を通して、絵本の筋にあわせて自分が選んだ動物について紹介する。</li> </ul>

# 小学校 第6学年 外国語 学習指導案例 (イメージ)

## 1 育成する能力

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、コミュニケーションの目的を理解し、見通しを持って目的を実現するための言語活動を通して、聞いたり話したりするとともに、読んだり書いたりすることに慣れ親しませ、コミュニケーション能力の基礎となる資質・能力を次のとおり育成を目指す。

## 2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語で「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」について、定型表現など実際のコミュニケーションにおいて必要な知識・技能を身に付けている。</li> <li>・外国語の学習を通じて、言語の仕組み(音、単語、語順など)などに気付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馴染みのある定型表現を使って、自分の事や気持ち、身の回りのことなどについて質問したり答えたりするなどして表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや言語を用いてコミュニケーションを図る大切さを知り、相手意識を持って外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>・外国語の学習を通じて、言語や、多様なものの見方や考え方の大切さに気付いて、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>

## 3 取り上げる単元

(1) 単元名 My memorial event (全8時間:45分授業6コマ+15分短時間学習6回)

(2) 単元の目標

6年間の小学校生活について自分の考えを伝え合ったり、単語を正確に書き写したりすることができるようにするとともに、思い出に残る行事についてその理由を含めて相手意識を持って伝え合ったり、単語を推測して読んだりしようとする。

## 4 該当する指標形式の目標(イメージたたき台)

話すこと	自分や身の回りの物事に関するごく限られたことについて、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。
読むこと	音声で十分に慣れ親しんだ、語句身近で具体的な事物を表す単語を持ちて、その意味を理解できるようにする。
書くこと	例文を参考にしながら、音声などで十分慣れ親しんだ語句や文を書き写すことができるようにする。

## 5 学習指導における具体的評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の言い方や気持ちの表し方を理解している。</li> <li>・単語を正確に書き写すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事について自分の考えを表現している。</li> <li>・小学校生活の思い出に残る行事についてその理由を含めて自分の考えを伝え合っている。</li> <li>・単語を推測して読んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事について自分の考えを表現しようとしている。</li> <li>・小学校生活の思い出に残る行事についてその理由を含めて自分の考えを伝えようとしている。</li> <li>・単語を正確に書き写そうとしている。</li> <li>・単語を推測して読もうとしている。</li> </ul>

6 指導と評価の展開 数字1 - 6 : 45分授業 短 - : 短時間学習

次時	評価規準と評価方法	学習活動
一 1 短	<p>【評価規準】</p> <p>学校行事を表す語を理解している。</p> <p>【評価方法】</p> <p>クイズ・ゲームでの様子の観察</p>	<p>・「どここの国でしょうクイズ」を通して、行事に興味を持つ。</p> <p>・「学校の様々な行事クイズ」「行事ビンゴ」「行事マッチングゲーム」を通して、様々な行事の言い方を知る。</p> <p>・「チャンツ」を通して、行事の言い方が使えるように練習する。</p>
二 2 3 短	<p>【評価規準】</p> <p>学校行事について自分の考えを表現している。</p> <p>【評価方法】</p> <p>ペアでのインタビューの様子の観察</p>	<p>・「先生の思い出行事についての話を聞く」ことを通して、単元最後の見通しを持つ。</p> <p>・「チャンツ」「学校行事クイズ」を通して、行事の言い方が使えるように練習する。</p> <p>・「ラッキーカードゲーム」「行事についてインタビュー」を通して、学校行事について自分の考えを表現する。</p>
三 4 短	<p>【評価規準】</p> <p>・学校行事について自分の考えを表現している。</p> <p>・思い出の学校行事名を正確に書き写している。</p> <p>【評価方法】</p> <p>・ペアでのインタビューの様子の観察</p> <p>・ワークシートで文字なぞりを点検</p>	<p>・「チャンツ」を通して、行事や気持ちの表し方が使えるように練習する。</p> <p>・「学校行事名クイズ」「学校行事名の文字をなぞる」活動を通して、学校行事の単語に見慣れる。</p> <p>・「校内の先生の思い出行事クイズ」「思い出の学校行事インタビュー」を通して、学校行事について自分の考えを表現する。</p>
四 5 6 短	<p>【評価規準】</p> <p>・学校行事について自分の考えを伝え合ったり、単語を正確に書き写したりしている。</p> <p>・思い出に残る行事についてその理由を含めて伝え合ったり、単語を推測して読んだりしようとしている。</p> <p>【評価方法】</p> <p>・プレゼンテーション観察</p> <p>・プレゼンテーションシートを点検</p>	<p>・「チャンツ」を通して、行事や気持ちの表し方が使えるように練習する。</p> <p>・「思い出の学校行事インタビュー」を通して、学校行事について自分の考えを表現する。</p> <p>・「思い出の学校行事を書き写す」活動を通して、単語を正確に書き写す。</p> <p>・「学校行事名マッチングゲーム」を通して、学校行事の単語に見慣れる。</p> <p>・「思い出の学校行事クイズ」を通して、学校行事の単語を読もうとしたり、思い出に残る学校行事についてその理由を含めて伝え合ったりする。</p>

## 中学校外国語科 学習指導案 <イメージ 例>

### 1 育成する能力

学習指導要領 内容(1)イ(イ)

「自分の考えや気持ち，事実などを聞き手に正しく伝えること。」

### 2 評価規準

「外国語教育における観点別評価・たたき台（イメージ）案」（H28.03.22 外国語 WG 資料6）をベースに改訂

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。</li> <li>・英語の音声，語彙・表現，文法を，英語で「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的，場面，状況，テキストタイプに応じて，幅広い話題について英語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を的確に理解している。</li> <li>・聞いたり読んだりしたことなどを活用して，目的，場面，状況に応じて，幅広い話題について英語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図などを適切に伝え合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，英語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</li> </ul>

### 3 取り上げる題材・教材・単元

単元名 ナイアガラ滝（第1学年）

#### 単元の目標

町や観光地を口頭で案内する。

ペアワークにおいて，間違えることを恐れず話す。

助動詞 can を用いた文の構造を理解する。

疑問詞 when を用いた文の構造を理解する。

### 4 具体的な評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞 can を用いた文の構造を理解している。</li> <li>・疑問詞 when を用いた文の構造を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町や観光地を口頭で案内している。</li> <li>can や when を適切に用いて，町や観光地を案内する内容を伝え合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアワークにおいて，間違えることを恐れず話している。</li> <li>ペア・ワークにおいて，町や観光地を案内する内容を伝え合おうとしている。</li> </ul>

## 5 単元に該当する指標形式の目標

話すこと (発表)	ごく身近な事柄や出来事について，事実，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や文を用いて短く話すことができるようにする。
--------------	---

## 6 指導と評価の展開

次	時	評価規準と評価方法	学習活動
第一 次	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ warm-up として，どんな観光地へ行ったことがあるかを対話する。</li> <li>・ 本単元で身に付ける資質・能力や理解する内容を知る。</li> <li>・ 助動詞 can を用いた文の構造を知る。</li> <li>・ 教科書本文を通して，can の使い方を理解する。</li> <li>・ 教科書本文から，町や観光地を案内する時に使われる表現を探す。</li> <li>・ can を用いた文を使えるように練習する。その際，町や観光地の場面も含めることに配慮する。</li> </ul>
	2	<b>【評価規準】</b> 助動詞 can を用いた文の構造を理解している。 <b>【評価方法】</b> 後日筆記テスト テストの内容は「後日」の欄を参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助動詞 can を用いた文の構造を知る。</li> <li>・ 教科書本文を通して，can を用いた疑問文の使い方を理解する。</li> <li>・ 教科書本文から，町や観光地を案内する時に使われる表現を探す。</li> <li>・ can を用いた文を使えるように練習する。</li> <li>・ can を用いた疑問文を用いて応答練習する。その際，町や観光地の場面も含めることに配慮する。</li> </ul>
第二 次	3	<b>【評価規準】</b> 疑問詞 when を用いた文の構造を理解している。 <b>【評価方法】</b> 後日筆記テスト テストの内容は「後日」の欄を参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疑問詞 when を用いた文の構造を知る。</li> <li>・ 教科書本文を通して，when の使い方を理解する。</li> <li>・ 教科書本文から，町や観光地を案内する時に使われる表現を探す。</li> <li>・ when を用いた文を使えるように練習する。その際，町や観光地の場面も含めることに配慮する。</li> </ul>
	4	<b>【評価規準】</b> ペア・ワークにおいて，町や観光地を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ We are going to ~ , That's ~ , We can see ~ など教科書で用いられている町や観光地を</li> </ul>

		案内する内容を伝え合おうとしている。 【評価方法】 活動の観察 ペアになり、英語を用いて町や観光地を案内する表現を使おうとしているかどうかを観察する。	案内する時に使われる表現をまとめる。 ・他の表現を補足説明する。 ・ペアで町や観光地を案内する表現を使う練習をする。
第三次	5	【評価規準】 ペア・ワークにおいて、町や観光地を案内する内容を伝え合おうとしている。 【評価方法】 活動の観察 ペアになり、英語を用いて町や観光地を案内する内容を話そうとしているかどうかを観察する。	・ペアで町や観光地を案内し合う。 ・グループで町や観光地を案内し合う。 ・全体の前で町や観光地を案内する。
	6	【評価規準】 can や when を適切に用いて、町や観光地を案内する内容を伝え合っている。 【評価方法】 ダイアログテスト バスで観光地を巡っている場面を想定し（この事例では、長野という設定にしている）、教師に対して町や観光地 2 か所を案内する内容のテストであることを説明する。 長野の観光地の写真を 2 枚見せて 10 秒程度考える時間を与えた後、その場所を教師に対して案内させ、必要に応じて相づちや質問を返しながらやりとりをする。 留意点 写真は生徒同士が練習に使用するものとは異なるが、生徒がよく知っている場所のものをを用いる。	・ペアで町や観光地を案内する練習をする。 ・バスで観光地を巡っている場面を想定して、紹介する場所や相手を変えながら他の生徒と自由に案内し合う。 ・上記の活動中に教師のところへ来て、2 か所の町や観光地を案内する。
	後日	【評価規準】 ・助動詞 can を用いた文の構造を理解している。 ・疑問詞 when を用いた文の構造を理解している。 【評価方法】 筆記テスト	<筆記テスト> 外国人の友人について、できることを書いて紹介する問題 場面を与えて適当な表現を書く問題



## 高等学校 外国語科「英語コミュニケーション」 学習指導案 <イメージ例>

### 1 育成する能力 現行学習指導要領「コミュニケーション英語」より

学習指導要領 内容の(1)のイ

「説明や物語を読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。」

学習指導要領 内容の(1)のウ

「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。」

### 2 評価規準 「外国語教育における観点別評価・たたき台（イメージ）案」（H28.03.22 外国語 WG 資料6）をベースに改訂

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の働きや役割などを理解し、英語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。</li> <li>・英語の音声、語彙・表現、文法を、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」について実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面、目的、状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。</li> <li>・外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面、目的、状況等に応じて、幅広い話題について英語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語やその背景にある文化、多様なものの見方や考え方に対する理解を深め、これらを尊重するとともに、自律的・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、英語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</li> </ul>

以下、「評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校・外国語）」をベースに改訂

### 3 取り上げる単元の目標・題材・教材・単元

Lesson 3 My Dreams for the Future

本単元は、海外に渡って成功を収めた日本人の料理人が、どのようにして自分の夢を見つけ、それを実現していったかについて、インタビューを通して紹介する内容である。高校生にとって関心の高い将来の夢や職業選択という話題について、読んで得た情報を口頭で要約するとともに、自分自身の考えやその理由を口頭で伝える能力を育成する。

### 4 本単元に該当する指標形式目標

指標形式の目標	
読むこと	日常生活において身の回りにある短い平易なテキストから、必要な情報を読み取ることができるようにする。 身近な話題に関して平易な英語で書かれた短い説明や手紙を読んで、概要や要点を理解できるようにする。
話すこと	（発表）身近な話題について、自分の意見やその理由を簡単に話すことができるようにする。 （やり取り）日常生活や自分に関連した事柄に関する短い簡単なやりとりをすることができるようにする。

### 5 学習指導における具体的な評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや気持ちを伝える表現（think / hope [that] S' + V' ~ など）の使い方を理解しているとともに、それを実際のコミュニケーションの場面で使う技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物についての説明を読んで得た情報を整理し、その内容を適切な表現を用いて口頭で要約している。</li> <li>・読んで得た情報や語彙・表現などの言語知識を活用して、自分の将来の夢について話し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読んで得た情報について感想や意見を述べ合うペア・ワークやグループ・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けようとしている。</li> </ul>

6 具体的な評価基準と評価方法 学習活動

		具体的評価基準と評価方法	学習活動
第一次	1		<p>【概要】本文全体を速読し、キーワードなどを手がかりにして概要を捉える。</p> <p>教師のオーラル・イントロダクションを聞いたり教師からの質問に答えたりするなどして、単元内容についての背景となる知識（スキーマ）を高める。</p> <p>ワークシートに示された概要把握のための質問を見てから本文全体を読み、必要な情報についてメモをとる。</p> <p>ペアでQ - Aを行い、内容を確認する。</p>
	2・3・4・5	<p>【評価基準】（知識・技能）</p> <p>学習活動 に対応</p> <p>自分の考えや気持ちを伝える表現（think/hope [that] S' + V' ~ など）の使い方を理解しているとともに、それを実際のコミュニケーションの場面で使う技能を身に付けている。</p> <p>【評価方法】</p> <p>後日、以下の筆記テスト（定期考査）を実施。（筆記テストの内容）</p> <p>問：RinaとLucyが、将来の夢について話しています。（ ）内の指示に従って、下線部にLucyの発言を英語で書きなさい。</p> <p>Rina: What do you think of the chef we read about in the textbook?</p> <p>Lucy: He's great. I think it's important to have a dream.</p> <p>Rina: I agree. What is your dream?</p> <p>Lucy: My dream is to be a violinist. I practice the violin every day. _____</p> <p>（“hope”を用い、Lucyになったつもりで将来の夢に関する具体的な希望を伝える）</p> <p>【評価基準】（主体的に学習に取り組む態度）</p> <p>学習活動 ~ に対応</p> <p>読んで得た情報について感想や意見を述べ合うペア・ワークやグループ・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けようとしている。</p> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内を巡回してペア・ワーク（§ 4の内容に対する感想や意見についてペアで伝え合う活動）を観察し、必要に応じて会話を続けるための表現を使うなどして、不自然な沈黙を置かずに活動に取り組んでいるかどうかを確認する。</li> <li>・授業終了後にワークシート（§ 4の内容に対する感</li> </ul>	<p>【概要】本文の各セクション（§ 1～§ 4）の概要・要点を理解し、口頭で要約するとともに、内容に対する感想や意見を伝え合う。</p> <p>第2時から第5時の各時に1セクションずつ扱うこととする。</p> <p>教科書を閉じて本文の音声で2回程度聞き、話題や概要を把握する。</p> <p>必要に応じて、語、連語、慣用表現及び文構造について、意味や用法を確認する。</p> <p>〔各セクションで取り扱う文法事項等〕</p> <p>§ 1：受け身表現及びthat節の中の時制</p> <p>§ 2：関係代名詞who</p> <p>§ 3：主語＋動詞＋目的語＋目的語（= how to など）</p> <p>§ 4：think/hope/be afraidなど＋[that] S' + V' ~</p> <p>本文を読んで、ワークシート上のSummary Chart（内容を要約するためのフローチャート）を完成させる。</p> <p>教師の質問に答えながらSummary Chart上の記入事項を確認し、本文の内容理解を深める。</p> <p>CDを聞きながら、音読やシャドーイング練習をする。</p> <p>ペアになり、Summary Chartを見ながら、各セクションの内容を口頭で要約する。その際、次のように、要約の方法を段階的に指導する。</p> <p>〔口頭要約の段階的な指導〕</p> <p>§ 1：与えられた質問に解答し、質問の英語と解答をつなぎ合わせて要約する。</p> <p>§ 2：与えられた複数のキーワードを用いて要約する。</p> <p>§ 3/§ 4：自分で本文からキーワードを抜き出し、それを用いて要約する。</p> <p>感想や意見を述べたり話を続けたりするために必要な表現（He's cool/great/fantastic など＋because... やWhat do you think? など）を練習する。</p> <p>ワークシートに、各セクションの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをメモする。</p> <p>ペアやグループになり、メモを参考にしながら、セクションごとに感想や意見を口頭で伝え合う。</p> <p>（パートナーやグループのメンバーを変えて、何度か同じ活動を行う。）</p>

		想や意見について話すためのキーワードをメモしたもの)を提出させ、記入内容を確認する。									
第三次	6	<p>【評価規準】(思考・判断・表現) 学習活動 ・ に対応 人物についての説明を読んで得た情報を整理し、その内容を適切な表現を用いて口頭で要約している。</p> <p>【評価方法】 後日、インタビューテストを実施。 (インタビューテストの内容)</p> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・指示された3つのキーワードを用い(順不同)、本文の要旨を述べる。</li><li>・キーワードの選択に当たっては、本文§1から§4の各セクションについて複数のキーワードをあらかじめ準備し、それらから一つずつ、計4つを無作為に選択して生徒ごとに異なる語を示す。</li></ul></div> <p>【評価規準】(思考・判断・表現) 学習活動 ・ に対応 読んで得た情報や語彙・表現などの言語知識を活用して、自分の将来の夢について話し合っている。</p> <p>【評価方法】 上記と同じインタビューテスト内で実施。 (インタビューテストの内容)</p> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・海外で自分の夢を果たした日本人の料理人に関する話に基づき、自分の将来の夢について話す。</li></ul></div>	<p>【概要】学習した語彙・表現や文法事項等を活用して、本文を自分の言葉で要約するとともに、内容に対する感想や意見を伝え合う。</p> <p>教科書を閉じてセクションごとに本文の音声を聞き、内容上のキーワードをメモする。</p> <p>ペアになり、メモに基づいて、各セクションの内容を口頭で要約する。その際、次のような手順で活動する。</p> <table><tr><td>§1の聞き取りとメモ</td><td>生徒Aが要約</td></tr><tr><td>§2の聞き取りとメモ</td><td>生徒Bが要約</td></tr><tr><td>§3の聞き取りとメモ</td><td>生徒Aが要約</td></tr><tr><td>§4の聞き取りとメモ</td><td>生徒Bが要約</td></tr></table> <p>本単元で学習したことなどを参考にしながら、自分の将来の夢、その理由及びそれを実現するために必要なことについて考え、それらを伝えるためのポイントを簡単にメモする。</p> <p>ペアになり、メモに基づいて、自分の将来の夢について伝え合う。</p>	§1の聞き取りとメモ	生徒Aが要約	§2の聞き取りとメモ	生徒Bが要約	§3の聞き取りとメモ	生徒Aが要約	§4の聞き取りとメモ	生徒Bが要約
§1の聞き取りとメモ	生徒Aが要約										
§2の聞き取りとメモ	生徒Bが要約										
§3の聞き取りとメモ	生徒Aが要約										
§4の聞き取りとメモ	生徒Bが要約										
	7・8	<p>インタビューテスト</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教師2名で実施し、個々の生徒へ次の2つの事項について質問をする。 Q1: 本文全体の口頭要約 Q2: 自分の将来の夢</li><li>・2か所同時展開でテストを実施。</li><li>・評価の信頼性を確保するため、インタビューテストを録音(録画)する。</li><li>・所要時間は生徒1人につき約2分とし、2時間連続のテスト時間帯を確保する。</li></ul>	<p>テストを待っている生徒は、他教師の監督の下で、本単元の内容に関連した別の英文を読み、内容を要約して英語で書く。</p>								

小学校3年生外国語活動週1コマ (Hi, friends! 1をベースにしたイメージ)たたき台				
単元名	時間	<題材> 使用表現	単元目標例	HFとの関連
Lesson 1 Hello!	3	<言語・挨拶> Hello. Goodbye. My name is ~. Thank you.	・世界には様々な言語があることに気付くとともに、英語での挨拶の表現に慣れ親しみ、自分の名前を言って挨拶しようとする。	1 - L1
Lesson 2 I'm happy.	2(5)	<ジェスチャー・感情・様子> 感情・様子を表す語 How are you? I'm happy.	・世界には様々なジェスチャーがあることに気付くとともに、感情や状態を表す語や表現に慣れ親しみ、表情やジェスチャーをつけて挨拶とともに、相手に感情や状態を伝えようとする。	1 - L2
Lesson 3 How many apples?	4(9)	<数・身の回りの物> 身の回りの物 one ~ ten How many ~?	・言語には、それぞれ特色があることを知るとともに、数の言い方や尋ね方に慣れ親しみ、身の回りのものを数えようとする。	1 - L3
Lesson 4 My rainbow	5(14)	<色> 色 I like ~. Do you like ~? Yes, I do. No, I don't.	・英語と日本語の音の違いや、色について様々な見方があることに気付くとともに、好きなものを表わしたり、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、好きなものを尋ねたり答えたりしようとする。	1 - L4 1 - L5
Lesson 5 絵本教材活用単元 In the Autumn Forest	4(18)	<動物> 動物・体の部位・ 形状を表す語	・カタカナで表す動物とその英語との音の違いに気付き、まとまりのある英語での話を聞いてその大筋がわかり、動物や体の部位、形状を表す語に慣れ親しみ、まとまりのある英語での物語を聞いてその概要を理解し、自分が選んだ動物を紹介しようとする。	2 - L7
Lesson 6 This is my favorite.	4(22)	<外来語・食べ物> 野菜・果物・菓子 What do you like? I like ~.	・食べ物や色などの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、積極的に何が好きなかを尋ねたり答えたりしようとする。	1 - L6
Lesson 7 My name	5(27)	<アルファベット大文字> A ~ Z What do you want? ~, please.	・身の回りにはアルファベットで表されているものが多いことに気付くとともに、アルファベットの読み方や、何が欲しいか尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、相手意識を持って欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。	1 - L6
Lesson 8 Welcome to our museum.	4(31)	<身の回りの物> 身の回りの物・形状を表す語 What ~ do you want?	・身の回りの物に関する外来語とその英語から、日本語と英語の音の違いに気付き、どのようなものが欲しいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、相手意識を持ってどのようなものが欲しいかを尋ねたり答えたりしようとする。	1 - L6
Lesson 9 Who am I?	4(35)	<動物・身の回りの物> 動物・身の回りの物・形状・ 様子を表す語 I'm ~.	・動物や形状・様子を表す語に慣れ親しみ、あるものを説明したり、相手意識を持ってある物について尋ねたり答えたりしようとする。	1 - L7

小学校4年生外国語活動週1コマ  
(Hi, friends! 1をベースにしたイメージ) たたき台

単元名	時間	題材・使用表現	単元目標例	HFとの関連
Lesson 1 Nice to meet you.	4(4)	<世界の言語・アルファベット小文字> a ~ z Nice to meet you. My name is ~. What's your name?	・様々な言語があることに気付くとともに、アルファベット小文字や初めて出会った人との挨拶の仕方に慣れ親しみ、相手意識を持って挨拶しようとする。	1 - L1
Lesson 2 Turn right.	4(8)	<学校・道案内> 教室・学校 Where is ~? Go straight. Turn right/left.	・世界には様々な学校生活があることを知り、学校の中の物や教室名の言い方に慣れ親しみ、相手意識を持って学校を案内しようとする。	2 - L5
Lesson 3	4(12)	<昆虫・自然> 自然や位置に関する語句	・自然や位置に関する語句に慣れ親しみ、ジェスチャーや絵等、非言語手段を用いて、聞き手にわかりやすく話したり、わからない語句があっても類推しながら聞き続けたりしようとする。	2-L5
Lesson 4 What's this?	5(17)	<文字・アルファベット大小文字> Aa ~ Zz What's this? It's ~.	・世界には様々な文字があることや、身の回りにはアルファベットの文字で表されているものが多いことに気付くとともに、身の回りの物や、あるものが何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、相手意識を持ってあるものが何かを尋ねたり答えたりしようとする。	1 - L7
Lesson 5 絵本教材活用単元 : Good morning!	5(22)	<一日の生活> 動作・気持ちを表す語 I have/study/play ~.	・言葉には深い意味があることに気付き、様々な動作や気持ちを表す表現に慣れ親しみ、まとまりのある話の概要を理解しようとする。	2 - L7
Lesson 6 Ten years!	4(26)	<職業> 職業・身の回りの物・感情を表す語 What do you want to be? I want to be ~.	・世界には様々な職業があることに気付き、職業を表す語に慣れ親しみ、就きたい職業について聞いたり言ったりしようとする。	2 - L8
Lesson 7 What's this? Quiz	4(30)	<クイズ身の回りの物> 動物 形状を表す語 色・形状 What's this?	・英語と日本語の音声の違い気に気付き、身の回りのものの言い方に慣れ親しみ、二往復以上のやりとりをしようとする。	1 - L7
Lesson 8 Welcome to my town.	5(35)	<自分の住む地域> 建物・有名な物を表す語 状態・感情を表す語	・形、色、形状等の語いやそれらに関する表現に慣れ親しみ、あるものについて説明しようしようとする。	1 - L7



# 次期学習指導要領の5・6年生の年間指導計画 イメージ たたき台

短時間学習は...各単元の内、系統性を確保するため、まとまりのある学習と、「繰り返しの学習」や「深まりのあるコミュニケーション活動」等とを関連付けながら、アルファベットの文字、語彙や表現の定着を図る。

## 小学校5年生外国語年間70コマ

単元名	時間	題材等	目標例(二重下線部は、HFに設定されていない部分)	HFとの関連・プラスした時数
Lesson 1 Hello, everyone.	5(5)	挨拶・自己紹介 I like/don't like ~. 反応	・自分のことについて <u>簡単に紹介できるようにする</u> とともに、自分のことについて相手を尊重しながら伝え合おうとする。	1 - L1
Lesson 2 Do you have "a"?	8(13)	身の回りの英語表記 アルファベット大小文字 Do you have ~?	・身の回りにはアルファベットの文字で表されているものが多いことや、 <u>アルファベットには読み方と音があることに気付き、アルファベットの文字を読んだり、あるものを持っているかどうかを尋ねたり答えたりすることができるようにする</u> とともに、 <u>アルファベットの文字を読んだり書き写したり</u> 、あるものを持っているか尋ねたり答えたりしようとする。	2-L1
Lesson 3 When is your favorite day?	8(21)	月日・季節 When is ~? Why?	・世界には様々な行事があることに気付き、 <u>日程を尋ねたり答えたりすることができるようにする</u> とともに、 <u>自分の大切な日について理由を含めて伝え合ったり、丁寧にアルファベットの文字を書き写したりしようとする。</u>	2 - L2
Lesson 4 This is ME!	8(29)	スポーツ・楽器 身の回りのもの・動作 I can ~. Can you ~?	・人それぞれであることに気付き、 <u>物語のあらすじを聞き取ったり、できることを尋ねたり答えたりすることができるようにする</u> とともに、自分のできることやできないことを伝え合ったり、 <u>丁寧にアルファベットの文字を書き写そうとしたりする。</u>	2-L3
Lesson 5 Turn right.	7(36)	建物 道案内 Where is ~?	・世界の町の様子から日本との相違点に気付き、 <u>道を尋ねたり、道案内したりできるようにする</u> とともに、相手にわかるように道案内したり、 <u>正確にアルファベットの文字を書き写したりしようとする。</u>	2-L4
Lesson 6 This is our town!	8(44)	自然 食べ物 特産物等 This is ~.	・自分たちの町の様子から、世界との共通点に気付き、 <u>自分たちの住む町について伝え合えるようにする</u> とともに、自分たちの住む町のお薦めを紹介しようとしたり、 <u>正確にアルファベットの文字を書き写したりしようとする。</u>	新規
Lesson 7 My school schedule	8(52)	教科名 曜日 身の回りのもの I study ~ on Monday.	・世界の同年代の子供の学校生活から自分たちとの相違点や共通点、 <u>単語はアルファベットの文字がまとまってできていることに気付き、学校生活について説明し合ったり、正確にアルファベットの文字を書いたりできるようにする</u> とともに、お気に入りの時間を入れた時間割を伝え合おうとする。	1 - L8
Lesson 8 Healthy menu	8(60)	食べ物 食習慣 What would you like?	・世界には様々な食生活があることに気付き、 <u>丁寧に欲しい物を尋ね、答えたり、正確にアルファベットの文字を書き写すことができるようにする</u> とともに、健康に良い食事について伝え合おうとする。	1 - L9
Lesson 9 We are good friends.	10(70)	世界の童話 日本の童話 Let's ~.	・世界には子供たちに様々な願いを込めて書かれた童話等があることや、 <u>アルファベットの文字がまとまって単語になることに気付き、まとまった英語の物語を聞いて、内容がわかり、場面に合ったセリフを言ったり、正確にアルファベットの文字を書き写すことができるようにする</u> とともに、英語で物語の内容を伝え合おうとする。	2-L7

### 【短時間学習の例・イメージ】

例えば、Lesson 3  
自分の大切な日について

季節・月日などの語彙や日程を尋ねたり答えたりする表現を使うことができる。

### 主な目標と活動例

・「チャンツ」を通して、季節・月日などの単語に慣れる。  
・「ステレオゲーム」を通して、月日などの単語や日程の尋ね方を使えるようにする。  
・補助教材ワークシートなどを活用してアルファベットの文字を丁寧に書き写すようにする。

この短時間学習を45分+15分で60分として、意味のある場面設定の中で、「深まりのあるコミュニケーション活動」等をするこも考えられる。

# 小学校6年生外国語年間70コマ

単元名	時間	題材	目標例	HFとの関連・プラスした時数
Lesson 1 Hello, nice to meet you.	5(5)	挨拶 自己紹介 I'm ~.	・世界には様々な挨拶の仕方があることに気付くとともに、 <u>簡単なやりとりをして自分について伝え合ったり、自分の名前を正確に書いたりすることができるように</u> するとともに、自分について相手にわかるように伝え合おうとする。	1 - L1
Lesson 2 This is our school.	8(13)	教室名 身の回りの物 形状・気持ちを表す語 I like ~.	・世界の子供たちの生活から自分たちとの共通点や相違点に気付くとともに、 <u>自分の学校について簡単に説明したり、学校名を正確に書いたりすることができるように</u> するとともに、 <u>自分たちの学校について自分の考えを伝え合おうとする。</u>	2 - L4
Lesson 3 Let's go to Italy.	8(21)	世界の国々 生活 I want to go to ~.	・世界の国々の様子から日本との共通点や相違点に気付き、 <u>行ってみたい国についてその理由とともに簡単に説明したり、国名を正確に書き写したりできるように</u> するとともに、お薦めの国について伝え合ったり、 <u>単語を推測して読んだりしようとする。</u>	2 - L5
Lesson 4 Welcome to our country.	8(29)	日本の特徴 ~ is ~.	・日本の様子から世界の国々との共通点や相違点に気付き、 <u>日本について伝えることができるように</u> するとともに、 <u>日本の良さについて自分の考えを相手にわかるように伝え合い、単語を正確に書き写したり、推測して読んだりしようとする。</u>	新規
Lesson 5 What time do you get up?	8(37)	一日の生活 時刻 I get up at 7:00.	・世界の人々は様々な生活の中で精一杯生活を営んでいることや、時差があること、 <u>英語と日本との表記の仕方の違いに気付き、自分の一日の生活について伝え合うことができるように</u> するとともに、自分の大切にしている時間について伝え合い、 <u>単語を正確に書き写したり、推測して読んだりしようとする。</u>	2 - L6
Lesson 6 A letter to ....	8(45)	動物 ~ is chasing ~.	・世界の様々な課題や、 <u>英語の語順に気付き、まとまった内容の話を聞いて理解し自分のできることを伝え合い、単語を正確に描き写したりできるように</u> するとともに、世界の様々な課題に対して自分ができることを伝え合ったり、 <u>単語を推測して読んだりしようとする。</u>	2-L3・L7
Lesson 7 My favorite event	8(53)	学校生活 My favorite event is ~.	・世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気付き、 <u>6年間の小学校生活について自分の考えを伝え合ったり、単語を正確に書き写したりすることができるように</u> するとともに、 <u>思い出に残る行事についてその理由を含めて伝え合ったり、単語を推測して読んだりしようとする。</u>	新規
Lesson 8 What do you want to be?	8(61)	職業 気持ちを表す語 I want to be a teacher.	・世界には様々な夢をもつ同年代の子供たちがいることに気付き、 <u>つきたい職業について伝え合ったり、単語を正確に書き写したりすることができるように</u> するとともに、自分の将来について伝え合ったり、 <u>単語を推測して読んだりしようとする。</u>	2 - L7
Lesson 9 Junior High School Life	9(70)	中学校生活 I want to enjoy ~.	・ <u>中学校生活についてのまとまった話を理解し、自分の考えを表現したり、単語を正確に書き写したりできるように</u> するとともに、 <u>中学校生活の期待について簡単なスピーチをしたり、単語を推測して読んだりしようとする。</u>	新規

## 【短時間学習の例・イメージ】

例えば、Lesson 6  
学校行事について

### 主な目標と活動例

思い出の学校行事について自分の考えを表現するとともに、思い出の学校行事名を正確に書き写すことができる。

- ・「学校行事かるた取りゲーム」を通して、学校行事を表す単語に慣れる。
- ・「チャンツ」を通して、行事の言い方を使えるようにする。
- ・「学校行事名の文字をなぞる」活動を通して文字を正確に書き写すようにする。

この短時間学習を45分+15分で60分として、意味のある場面設定の中で、「深まりのあるコミュニケーション活動」等をするこも考えられる。

外国語  
現行科目

コミュニケーション英語  
基礎

コミュニケーション英語

(必修)

コミュニケーション英語

コミュニケーション英語

英語表現

英語表現

英語会話

課題

- ・生徒の英語力について、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」全般、特に「話すこと」と「書くこと」の能力が課題
- ・英語の学習意欲に課題
- ・言語活動、特に、統合型の言語活動（例：聞いたり読んだりしたことに基づいて話したり書いたりする活動）が十分ではない
- ・グローバル時代において、英語学習に関する生徒の多様化への対応が必要

発信力が弱い

育成を目指す  
資質・能力等

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、他者を尊重し、聞き手・話し手・読み手・書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るとともに、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝え合ったりする能力を養う

「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の総合型  
(必修科目を含む)の科目を核とする

発信能力の育成をさらに強化する

英語による思考力・判断力・表現力を高める見直し

英語コミュニケーション ・ ・ (仮称)

- ・「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」を総合的に育成（受信・発信のバランス）
- ・明確な目標（英語を用いて何ができるようになるか）を達成するための構成・内容
- ・複数の力を統合させた言語活動が中心
- ・「英コミュ」は中学校段階での学習の確実な定着（高等学校への橋渡し）を含む。

学習指導要領に掲げられる資質・能力を確実に育成するための指標形式の目標を段階的に設定

論理・表現 ・ ・ (仮称)

- ・「話すこと」「書くこと」を中心とした発信力の強化
- ・スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションなどの言語活動が中心
- ・聞いたり読んだりして得た情報や考えなどを活用してアウトプットする統合型の言語活動

併せて専門教科「英語」の各科目も見直し  
総合英語 ・ ・ (仮称)、ディベート&ディスカッション ・ (仮称)、エッセー・ライティング ・ (仮称)

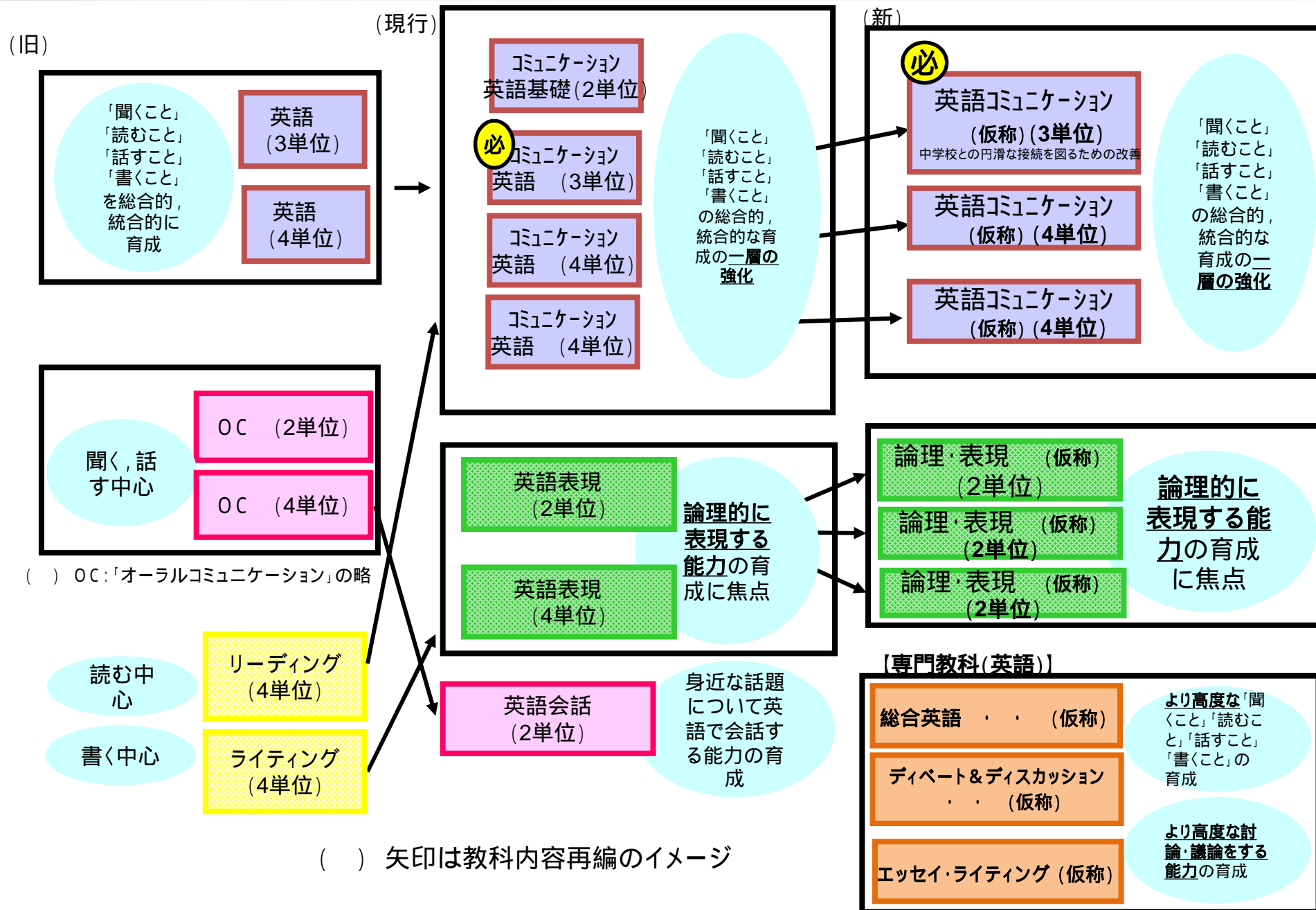
改訂の方向性（案）

↓  
へ内容の高度化・話題の多様化

生徒が実社会や実生活の中で、自らが課題を発見し、主体的・協働的に探求し、英語で考えや気持ちを互いに伝え合うことを目的とした学習



# (参考) 高等学校における英語科目の見直し等



# 高等学校 英語科における教育のイメージ（たたき台）

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、コミュニケーションの目的を理解し、見通しを持って目的を実現するための聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる総合的な言語活動を行うことを通して、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりすることができる資質・能力を次のとおり育成を目指す。

外国語を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことを用いた実際のコミュニケーションの場面において活用できる技能を身に付けるようにする。

外国語でコミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、社会や世界、他者との関わりの中での幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を的確に理解したり、それらを活用して適切に表現し伝え合ったりすることができる力を養う。

外国語やその背景にある文化の多様性を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【育成する人材像】 グローバル社会において、外国語による豊かなコミュニケーション能力を有し、言語や文化の多様性を尊重しつつ、積極的に国際的な舞台で活躍する人材

## 科目構成

### 【現行】

履修させる科目  
選択により

総合英語（仮称）（1）聞くこと（2）話すこと（やりとり・発表）（3）読むこと（4）書くこと

総合英語（仮称）（1）聞くこと（2）話すこと（やりとり・発表）（3）読むこと（4）書くこと

ディベート&ディスカッション（仮称）（1）スピーチ（2）プレゼンテーション  
（3）ディベート（4）ディスカッション

エッセイ・ライティング（仮称）（1）パラグラフの構成（2）エッセイ・ライティング

エッセイ・ライティング（仮称）（1）パラグラフの構成（2）エッセイ・ライティング

### 改善・充実の方向性

・外国語に関する専門的かつ高度な知識や技能を高める学習の充実

・高度な発表、討論・議論、交渉等ができる総合的なコミュニケーションの力を高める学習の充実

・言語とその背景にある文化を尊重しようとする態度の育成の充実

全ての生徒に履修させる科目

総合英語（仮称）（1）聞くこと（2）話すこと（やりとり・発表）（3）読むこと（4）書くこと

ディベート&ディスカッション（仮称）（1）スピーチ（2）プレゼンテーション  
（3）ディベート（4）ディスカッション

# 外国語教育の目標と学習過程の全体像（イメージ）

資料 1 2

## 今後の方向性

次期学習指導要領では、小・中・高等学校を通じて 学校段階間の学びを円滑に接続し、「英語を使って何ができるようになるか」という観点から、一貫した教育目標（指標形式の目標）などを提示する方向で改善を図る。

各学校では、学習指導要領に基づき、領域ごとの学習到達目標を設定し、目標に沿った指導及び評価を一体的に実施

## 教科等の目標の改善・イメージ

	小学校中学年(活動型)	小学校高学年(教科型)	中学校	高等学校
教科等の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、…資質・能力を、次のとおり育成を目指す。 外国語を用いた体験的な活動を通じて…慣れ親しませるようにする 外国語を通じて、…伝え合う力を養う 外国語を通じて、…図ろうとする態度を養う	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、…資質・能力を、次のとおり育成を目指す。 外国語を通じて、…技能を身に付けるようにする 外国語を通じて、…基礎的な力を養う 外国語やその背景にある…態度を養う	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、…資質・能力を、次のとおり育成を目指す。 外国語を通じて、…技能を身に付けるようにする 外国語で…伝え合うことができる力を養う 外国語やその背景にある…態度を養う	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、…資質・能力を、次のとおり育成を目指す。 外国語を通じて、…技能を身に付けるようにする 外国語で…伝え合ったりすることができる力を養う 外国語やその背景にある…態度を養う
外国語活動	自分や身の回りのごく限られた話題 ・話し手の意向などを理解すること ・自分の考えなどを話すこと	身近で簡単な話題 ・話し手の意向などを理解すること ・自分の考えなどを話すこと アルファベットの文字 ・アルファベットの文字を読むこと・書くこと	具体的で身近な話題 ・話し手の意向などを理解すること「～できるようにする」 ・自分の考えなどを話すこと 書き手の意向などを理解すること ・自分の考えなどを書くこと	(必修教科目)・身近な話題「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の基礎的な能力・日常的な話題、関心のある分野・情報や考えなどを的確に理解し、英語話者が理解できる程度の英語で適切に伝える (選択科目)・時事的な話題や社会問題を含む幅広い話題・情報や考えなどを的確に理解し、英語話者が理解できる程度の英語である程度流暢に伝える
英語の目標	<b>指標形式の目標</b> (例)「話すこと」 ・自分や身の回りのごく限られたことについて自分の気持ちなどを伝えようとするようにする。 ・身の回りのごく限られたことについて、定型表現を使って質疑応答しようとするようにする。	(例)「話すこと」 ・身近で簡単なことについて自分の考えや気持ちなどを初歩的な英語やりとりできるようにする。 ・身近で簡単なことについて与えられたテーマについて初歩的な英語で簡単なスピーチをすることができるようにする。	(例)「話すこと」 ・日常生活や自分に関連した事柄に関する短い簡単なやりとりをすることができるようにする。 ・身近な事柄や出来事について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。	(例)「話すこと」 ・身近な話題や知識のある話題について、簡単な英語を用いて情報や意見を交換することができるようにする。 ・身近な話題や関心のある事柄について、即興で説明することができるようにする。 ・時事問題や社会問題について、内容を具体的に説明するとともに自分の意見を加えて話すことができるようにする。
英語の学習過程	目的の設定・理解 簡単な語句や表現を使って、自分のことや身の回りのことについて話したり聞いたりして、外国語によるコミュニケーションを体験する。 目的達成のための活動 ・使用表現について理解したり練習したりする活動 ・互いの考えや気持ちを伝え合う活動 ペアワーク・グループワーク [言語の使用場面の例] ・特有の表現がよく使われる場面挨拶、自己紹介、買物、食事、道案内 ・児童の身近な暮らしにかかわる場面家庭生活、学校での学習・活動、地域行事、子どもの遊び [コミュニケーションの働きの例] ・相手との関係を円滑にする、気持ちを伝える、事実を伝える、考えや意図を伝える、相手の行動を促す まともめとふり返り	目的の設定・理解 馴染みのある定型表現を使って、自分の好きなものや、一日の生活などについて、友達に質問したり質問に答えたりできる。 目的達成のための活動 ・言語材料について理解したり練習したりする活動 ・互いの考えや気持ちを伝え合う活動アルファベットの文字や単語等の認識を深めたり、日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴や語順に気付いたりする活動 ペアワーク・グループワーク [言語の使用場面の例] ・特有の表現がよく使われる場面挨拶、自己紹介、買物、食事、道案内 ・児童の身近な暮らしにかかわる場面家庭生活、学校での学習・活動、地域行事、子どもの遊び [コミュニケーションの働きの例] ・相手との関係を円滑にする、気持ちを伝える、事実を伝える、考えや意図を伝える、相手の行動を促す まともめとふり返り	目的の設定・理解 具体的で身近な話題の概要・要点を理解し、考えや気持ち等を伝えたり、簡単な情報交換をしたりする。 目的達成のための活動 ・言語材料について理解したり練習したりする活動 ・互いの考えや気持ちを伝え合う活動 具体的な場面にあった適切な表現を自ら考えて言語活動ができるようにする 小学校で扱った語、表現等を繰り返し学ぶ。その際、小学校とは異なる場面で使ったり別の意味で活用したりするなどスパイラルに学ぶ ペアワークやグループワーク [言語の使用場面の例] ・特有の表現がよく使われる場面(挨拶、自己紹介、買物、食事、道案内、旅行、電話での応答) ・生徒の身近な暮らしにかかわる場面家庭生活、学校での学習・活動、地域行事 [言語の働きの例] ・コミュニケーションを円滑にする、気持ちを伝える、情報を伝える、考えや意図を伝える、相手の行動を促す まともめとふり返り ・言語面でのまともめと振り返り ・内容面でのまともめと振り返り	目的の設定・理解 学校や社会生活に関する幅広い話題の概要・要点を理解し、情報や考えなどを伝えることができる 目的達成のための活動 ・幅広い話題について情報や考えなどを的確に理解する活動 ・幅広い話題について発表、討論・議論、交渉などを行う活動 [コミュニケーション能力の設定] ・「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の基礎的な能力(必修教科目) 的確に理解し、適切に伝える能力(必修教科目及び選択科目) ・英語話者が理解できる程度の英語(必修教科目) 英語話者が理解できる程度の英語＋ある程度の流暢さ(選択科目) [話題の設定] 身近な話題及び日常的な話題や関心のある分野(必修教科目) 時事的な話題や社会問題など(選択科目) [情報や考えなどのやりとりに関する言語活動の設定] スピーチやプレゼンテーション等ディベートやディスカッション等 小・中学校で扱った語いや表現等を繰り返し学ぶ。その際、小・中学校とは異なる場面や文脈で活用できるようにするなど、スパイラルに学習する 具体的な場面に応じた適切な表現を自ら考えて言語活動ができるようにする ペア・ワークやグループ・ワークを学習形態の基本とする まともめとふり返り ・言語面でのまともめと振り返り(流暢さを重視したスピーキングの後で行う正確さをより重視したライティング(質的な高まり)など) ・内容面でのまともめと振り返り(得られた情報や考えの整理など)



# 外国語教育におけるICTの活用について(たたき台)

## (現状と今後の方向性)

資料 1 3

各教科等における情報に関わる資質・能力の育成、改善・充実のポイントのイメージ(案)

外国語	外国語によるコミュニケーションに必要な情報を抽出し、得られた情報を基に自分の考えを構築し、効果的に伝えるために必要な力を育成すること。 アクティブ・ラーニングの視点に立ったペア・ワークやグループ・ワークなどの学習活動において、ICTを効果的に活用した学習が行われるようにすること。 外国語に触れるとともに実際に外国語を使う機会を増やすためにも、ICTを積極的に活用すること。
-----	---

平成28年1月18日 総則・評価部会(第4回)資料(会議後修正)



	現行の学習指導要領 (解説)	参考 (26年度実績値)	方向性	活用例
小学校	<p>音声を取り扱う場合には、CD、DVDなどの視聴覚教材を積極的に活用すること。 その際、使用する視聴覚教材は、児童、学校及び地域の実態を考慮して適切なものとする。</p> <p>さまざまな視聴覚教材が手に入ることを考えると、それらを使う目的を明確にし、児童や学校及び地域の実態に応じたものを選択することが大切である。</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の環境整備 (校内LANの整備や必要機器の設置等)</li> <li>・教員によるICTリテラシーの差 (効果的な指導法の共有不足)</li> </ul>	<p>【全体】92.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン 87.5%</li> <li>・電子黒板 50.2%</li> <li>・書画カメラ 28.2%</li> </ul>	<p>・視聴覚教材、パソコン、情報通信ネットワークなどを、身に付けるべき能力や児童生徒の現状(能力・適性や興味・関心など)に応じて活用する。これらを通じ、児童生徒の興味・関心をより高め、指導の効率化及び言語活動の更なる充実を図り、児童生徒の「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の総合的なコミュニケーション能力向上に資する。</p>	<p>【対話的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア等で会話などのシミュレーションの交流や、会話などの言語活動を効果的に行うためのICTの活用 等</li> </ul> <p>【深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声中心にデジタル教材や電子黒板等を活用して、児童にネイティブの発音に触れ、日本語と英語の音声の違いに気付かせる</li> <li>・情報通信ネットワーク等を通して、中学校区内小学校や、校種の違う学校及び、海外の学校との交流により、外国語を使ったコミュニケーションを実体験することがさらにコミュニケーションへの意欲を喚起 等</li> </ul> <p>【主体的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度に応じた発音等の練習</li> <li>・活動の振り返り 等</li> </ul>

	現行の学習指導要領 ( 解説 )	参考 (26年度実績値)	方向性	活用例
中 学 校	<p>生徒の実態や教材の内容などに応じて、コンピュータや情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用すること。</p> <p>視聴覚機器を効果的に使うことで教材が具体化され、生徒にとって身近なものとしてとらえられるようになるとともに、生徒の興味・関心を高め、自ら学習しようとする態度を育成できる。</p> <p>・情報通信ネットワーク等を使い、教材に関する資料や情報を入手することや、情報を英語で発信したりすることで、主体的に世界と関わっていかこうとする態度を育成できる。</p> <p>[課題]</p> <p>・教室の環境整備 (校内LANの整備や必要機器の設置等)</p> <p>・教員によるICTリテラシーの差 (効果的な指導法の共有不足)</p> <p>・ICT活用に適した教材の不足</p>	<p>【全体】90.1%</p> <p>・パソコン 88.7%</p> <p>・デジタルカメラ 36.4%</p> <p>・書画カメラ 30.7%</p>		<p>【対話的な学び】</p> <p>・複数の意見や考えを議論し、互いの意見を伝え合う</p> <p>・グループでの情報の収集・整理 (リサーチ活動)</p> <p>・プレゼンソフトを活用し、与えられたテーマ等について口頭で発表 等</p> <p>【深い学び】</p> <p>・インターネット等による調査</p> <p>・テレビ会議システムを活用し、外国の生徒と交流(相互の学校紹介等)</p> <p>・電子黒板等を用いた分かりやすい課題の提示</p> <p>・遠隔地の学校との交流</p> <p>・情報通信ネットワーク等を用い、教材に関する資料や情報を入手 等</p> <p>【主体的な学び】</p>
高 等 学 校	<p>各科目の指導に当たっては、指導方法や指導体制を工夫し、ペア・ワーク、グループ・ワークなどを適宜取り入れたり、情報通信ネットワーク等を適宜指導に生かしたりする。</p> <p>視聴覚教材などを活用して現実感や臨場感を与えたり、パソコンなどを利用して生徒の能力・適性や興味・関心に応じた個別学習の機会を拡大したり、情報通信ネットワークを有効に活用して発展的な言語活動を実際に体験させたりするなど、様々な指導方法や指導体制の工夫をすることが大切である。</p> <p>[課題]</p> <p>・教室の環境整備 (校内LANの整備や必要機器の設置等)</p> <p>・教員によるICTリテラシーの差 (効果的な指導法の共有不足)</p> <p>・ICT活用に適した教材の不足</p>	<p>【全体】81.6%</p> <p>・パソコン 86.3%</p> <p>・指導者用タブレット 34.5%</p> <p>・デジタルビデオカメラ 19.9%</p>	<p>・視聴覚教材、パソコン、情報通信ネットワークなどを、身に付けるべき能力や児童生徒の現状(能力・適性や興味・関心など)に応じて活用する。これらを通じ、児童生徒の興味・関心をより高め、指導の効率化及び言語活動の更なる充実を図り、児童生徒の「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の総合的なコミュニケーション能力向上に資する。</p>	<p>【対話的な学び】</p> <p>・得られた情報を活用した意見等の構築</p> <p>・発表、討論・議論、交渉などの言語活動を効果的に行うためのICT機器の活用 等</p> <p>【深い学び】</p> <p>・グループでの情報の収集・整理(リサーチ活動)</p> <p>・扱う話題に関連した教材(英文、音声、動画等)の提示による発展的な言語活動</p> <p>・言語活動の展開方法等のビジュアル化</p> <p>・国内外の遠隔地の学校(海外の姉妹校を含む)等とのEメールやテレビ会議による交流 等</p> <p>【主体的な学び】</p> <p>・学習の振り返りや自己評価 等</p>